

苦小牧市医師会

医師

松沢 俊夫

痔のはなし

痔(じ)は、多くの人が悩まされる、ありふれた病気です。しかし、場所がら、なかなか病院で診察を受ける事ができず、症状が悪化してから、あるいは、他の病気を痔と考え、手遅れになってから受診する場合は時にみられます。

痔は一般的に、いぼ痔(内・外痔核)、切れ痔(裂肛)、あな痔(痔瘻)に分けられます。い

いぼ痔、切れ痔、あな痔に区分

ぼ痔はおしりにいぼ様のはれを触れたり、排便時にいぼの脱出、出血、いたみがあります。常習的な便秘、出産後、長時間同じ姿勢での仕事などとなりやすい。排便時ごと、あるいは立っているだけでいぼが脱出する場合は手術を受けたほうがよいと思います。手術の方法は、結紮切除術といって、肛門の二・三カ所を、いぼを含めて切除し、

奥で動脈を含めてしばります。術後の痛みは昔ほどなく、翌日より排便、入浴もできます。きれ痔(裂肛)は女性に多く、便秘、固い便の排出に際し肛門上皮が裂け、繰り返すことでできます。排便時の痛みと、はしるような出血があります。慢性化した場合には肛門括約筋をゆるめたり、裂肛の部分切除します。痔瘻は直腸と肛門の境にあ

るくぼみ(クリプト)から皮膚へトンネル(瘻孔)ができ、そこから膿(のう)や粘液がでて来ます。時に急に痛みが出現し、腫れて熱がでることがあります。これはなかに膿がたまったためです。すぐに切開排膿しなければなりません。痔瘻はクリプトを含めて瘻孔を切除しなければなりません。痔瘻の再発は不完全なクリプトの処理によ

ることがほとんどです。また難治性痔瘻は大腸のクローン氏病という病気の一症状としてみられることがあります。

そのほか肛門周囲のかゆみを訴える事がよくあります。痔の病気に伴っておこる場合と、水虫の菌やカンジダによる湿疹でおこることがあります。塗り薬でなおる場合がほとんどです。痔とおもっていて直腸がんのことがあります。一度病院で受診し、おしりから指をいれる診察を受けてください。

